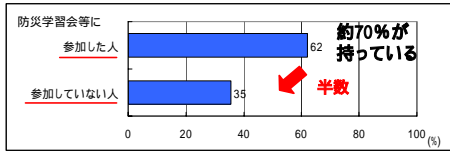


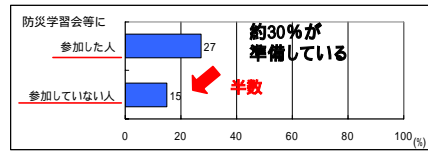


アンケート調査の実施

分科会で実施した取り組みの効果を検証するため、住民アンケート調査を実施しました。富桑、明德、大正地区では、防災学習会や防災訓練に参加した人は、ハザードマップの保存率や非常用持ち出し品の準備率が高く、防災学習会等の開催に効果があることが分かりました。



ハザードマップを持っている人の割合



非常用持ち出し品を準備している人の割合

被災地への現地視察、意見交換会

防災意識の向上を図るため、平成21年8月台風9号により甚大な被害に遭った佐用町への現地視察および意見交換会を実施しました。

- 【日時】平成24年12月20日(木)午後1時～4時
- 【場所】兵庫県佐用町 久崎地区～幕山地区
- 【参加者】富桑・明德・大正地区住民 鳥取県、鳥取市、国土交通省 計35名



まるごとまちごとハザードマップの整備

地域住民が普段から危機意識を持ち、水害発生時に浸水する地域や深さがひと目で分かるようにするため、千代川がはん濫した場合の想定浸水水位を示した看板を富桑地区に設置しました。



回転灯による水位情報の伝達

水位の上昇を一般に周知するため、行徳水位観測所に回転灯を設置しました。



防災フォーラムの開催

分科会の3年前にわたる取り組みを流域全体に広報し、千代川沿川住民の防災意識の向上を図るため、防災フォーラムを開催しました。

- 【日時】平成25年1月26日(土) 午後1時30分～4時30分
- 【場所】鳥取市民会館 大ホール
- 【参加者】一般住民、防災リーダー、行政職員等 約150名
- 【内容】



- ・第1部 講演
 - 「九州北部豪雨・矢部川の災害について」山本正司氏 (国土交通省中国地方整備局 土砂防災対策分析官)
 - 「平成21年台風第9号災害の記録と復興について」久保正彦氏 (佐用町企画防災課 まちづくり企画室長)
- ・第2部 パネルディスカッション
 - 【パネリスト】富桑地区住民代表、明德地区住民代表、大正地区住民代表
 - 鳥取大学、鳥取県、鳥取市、国土交通省
 - 【コーディネーター】梶見吉晴氏 (鳥取大学大学院・教授)

提言書を鳥取市長に提出！！

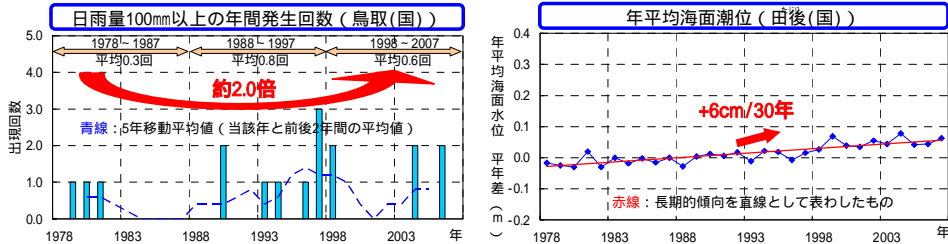
3年間にわたる分科会の取り組みを「防災・減災に向けて取り組むべき施策」と「取り組みを継続するための施策」としてとりまとめた提言書を千代川流域圏会議会長から鳥取市長へ提出しました。(平成25年3月)

提言書を竹内市長に提出する道上会長



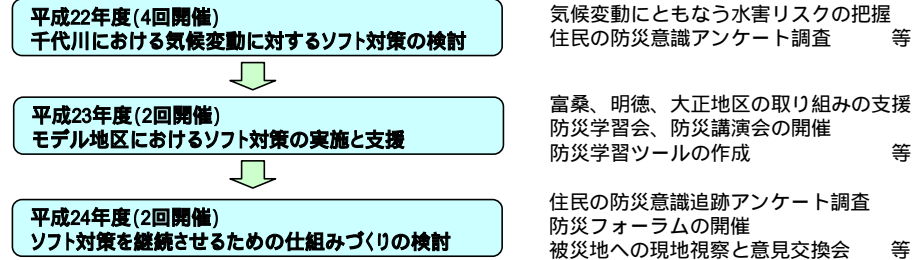
千代川流域の気候変動の状況

最近、気温や海面水位が上昇傾向にあり、一日に100mm以上の雨が降る回数も増加傾向にあります。



分科会の活動経過

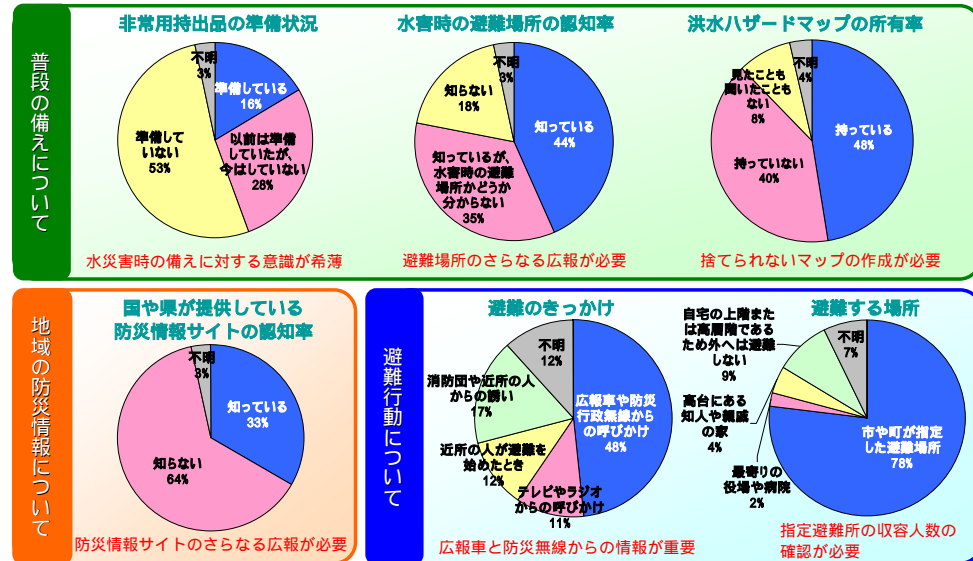
平成22年度に「気候変動にともなう防災・減災を考える会」（千代川流域圏会議・分科会）を設立し、水災害リスクに対する適応策（ソフト的な取組）の検討を進めてきました。



平成22年度の取り組み

住民アンケートによる水災害の課題抽出

調査期間：平成22年8月～9月、総配布数：10,080部、総回収数3,134部（回収率31.1%）



主な意見

災害時の防災リーダーの育成が必要。広報車のスピーカー、防災無線が聞き取りにくい。指定避難所が水没するので、別のところに避難する必要がある。

学校への防災学習の支援をお願いしたい。自分の住む地域の具体的な危険性について知りたい。水害用と地震用の避難所を周知して欲しい。

課題に対する取り組み

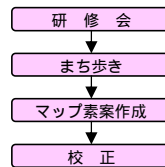
分科会での意見や住民アンケート調査であげられた下記の～の課題に対し、防災学習会の開催や防災学習ツールの作成など防災・減災に向けた取り組みを実施しました。

課題	取り組み内容
防災意識の啓発	防災学習会（出前講座）の開催 防災学習ツールの作成 防災講演会（フォーラム）の開催 地域での防災訓練の実施 被災地への現地視察、被災体験者との意見交換
地域コミュニティの強化	地域防災マップの作成支援 明德、富桑、大正地区以外への取組みの拡大
わかりやすい情報の提供	災害発生時等における特別な情報（警報音・照明等）の検討 まるごとまちごとハザードマップの整備
情報伝達手段の整備	国、県、市の提供する防災情報の市民への周知方法の検討
避難方法の確立	避難場所が不足している箇所に対しての検討

平成23年度の取り組み

地域防災マップの作成支援

富桑地区において「富桑地区防災マップ【水害編】」の作成を鳥取大学とともに支援しました。マップの作成には4回のワークショップを重ね、平成24年3月に各戸に配布しました。また、地域防災マップ作成マニュアル（案）を作成し、他地区への取組みの拡充を図りました。



防災講演会の開催

災害の経験と知恵を学び、住民の防災意識の向上を図ることを目的として、防災講演会を開催しました。

【日時】平成24年2月18日（土）午後2時～4時
【場所】鳥取県民ふれあい会館 ホール
【参加者】一般住民、防災リーダー、行政職員等 約280名
【演題】「想定を超える災害にどう備えるか」
～今求められる地域の防災力、個人の防災力～
【講師】群馬大学大学院 片田敏孝教授

避難3原則
「想定にとらわれるな、
「準備を怠るな、
「率先避難者たれ！」



当日は大雪にもかかわらず、約280名の参加者が熱心に講演を聞いていました。

防災学習会の開催

明德、大正地区および大正小学校において、防災学習会（出前講座）を開催しました。地区の学習会では同時にクロスロードゲームを実施し、参加者みんなで地域の防災について意見交換を行いました。



はん濫CGの作成

はん濫シミュレーション結果を分かりやすく説明するため、近景（人の目線）と遠景（鳥瞰）のはん濫CGを作成しました。

